

地域づくり事業



環境の
整備保全事業



広報事業



防災
活動事業



研究会、
講演会事業



調査、
研究事業



技術
開発事業



平成30年度 公益活動報告



地域づくり活動

① 公共事業用地補償に関する相談、助言活動

公共事業の用地取得に伴う補償関係に関する相談窓口を設置し、豊富な経験と高度な知識を有する者による相談・助言、講師派遣等の活動を行った。

実施日
通年

実施内容
相談受付 9件
講師派遣 4件
研修参加者 244名



▲ 用地補償に関する相談、助言活動

② 第22回MAG-CUP少年サッカー交流大会

東海環状自動車道沿線地域の少年が、サッカーを通じて友情と親睦を深め、地域交流の輪を広げるため、沿線市町村と共に少年サッカー大会を共催した。

実施日
H30.12.15～16

実施内容
参加チーム 32チーム
(東海環状自動車道通過25市町村)
会場：三重県いなべ市
(いなべ市員弁運動公園他)



▲ MAG-CUP少年サッカー交流大会

③ 堀川フラワーフェスティバル2018

名古屋市中心街を流れる堀川の錦橋～天王崎橋間を花で飾り付け、市民コンサートや水質浄化実験を行うなど市民が堀川に触れるための各種イベントを催すフラワーフェスティバルを共催した。

実施日
H30.5.11～26

実施内容
錦橋～納屋橋～天王崎橋
・ハンギングバスケット等の花の飾り付け
・水質浄化実験
・市民コンサート
・屋形船クルーズの運行 等

④ レストイン長島(桑名支所)

国道23号を走行する運転者等が休憩等のために利用するレストイン長島(三重県)の施設を維持する活動を行った。

実施日
通年

実施内容
駐車場、トイレ等の清掃・維持を実施



▲ 堀川フラワーフェスティバル2018

地域づくり支援活動

1 助成活動報告会

平成29年度に助成を行ったNPO団体等による、活動報告会を名古屋市内において行った。

実施日 H30.7.3

実施内容 平成29年度の地域づくり活動助成4団体が発表し33名が参加した。



▲ 助成活動報告会

2 地域づくり活動助成

環境・防災・地域づくり活動に取り組む活動を公募し、助成を行った。

1 炭焼きと砂防教室等による防災啓発活動

小学生を対象に土砂災害から地域住民の生命を守る砂防事業の必要性について、学習し理解をしてもらう活動

2 木曾三川下流域防災子ども狂言プロジェクト

水辺の保全活動と水辺の防災をテーマとする子ども狂言の発表と防災講演会を開催し、防災と地域の歴史的シビックプライドの醸成を図る活動



▲ 木曾三川下流域
防災子ども狂言プロジェクト

3 第23回富士山への手紙・絵コンクール

富士山の豊かな自然や災害に対する関心へつながっていくことを目的とした顕彰活動

4 堀川エコロボットコンテスト2018

堀川の「浄化・美化」を目的に、ロボット作りを通して「ものづくり」の心で環境改善に対する関心を高め、環境問題を考えるための活動



▲ 富士山への手紙・絵コンクール

5 体験的環境学習～海の世界を学ぶ会

スナメリ観察会、栽培漁業センター見学会、スノーケリングの会等を通して綺麗な海の大切さを体験し、環境問題を考える活動

6 思いをつなぎ、思いを広げる西の浜クリーンアップ活動

「西の浜」の清掃活動を通して、世界の海をきれいにしようと学生、地域住民、企業が協力し環境保全の大切さを体験する活動

7 水環境の啓発活動

小学生(4年生、6年生)を対象に、河川からの取水や、汚れた水を浄化して河川に戻すなどの水循環を学び、水の大切さを学習する活動



▲ 体験的環境学習～海の世界を学ぶ会

8 18秋の藤前干潟クリーン大作戦

藤前干潟を中心に庄内川、新川の河口付近における清掃活動を通して、河川の美化・保全及び伊勢湾へのゴミ流出防止等、流域全体への河川美化の啓発活動

9 「りばーびあ土岐川・庄内川&朝市 2018」

市民団体が中心となって洪水に強い土岐川・庄内川の必要性和環境保全を市民目線で啓発する活動

10 未来につなぐ渥美半島の環境を考えるためのプログラム 第3回 CAEA 渥美半島フォーラム

若者を対象に渥美半島の環境保全の必要性等について、講演会、フォーラムを通して発信する啓発活動

11 南海トラフ大地震に備える防災・減災シンポジウム

東日本大震災の悲劇を繰り返さないよう講演会を通して、防災・減災意識を高める啓発活動



▲ 思いをつなぎ、思いを広げる
西の浜クリーンアップ活動



▲ 秋の藤前干潟クリーン大作戦

3 第19回中部の未来創造大賞

愛知・岐阜・三重・静岡・長野の各県において、住民、企業、学校、行政等が取り組んでいる地域づくり活動等を顕彰し、「多様な主体による協働」の推進を目的とした第19回中部の未来創造大賞を共催した。

実施日 H30.5.25～7.31(募集期間)
H30.12.14(表彰式)

実施内容 地域づくり活動、防災活動等に24件の応募
大賞、優秀賞等の表彰を行った



▲ 第19回中部の未来創造大賞
「大賞：静岡県立浜松城北工業高等学校・環境部」
地域の大切な自然や環境を守る
「地球にやさしいエンジニア」

2 環境の整備保全に関する事業

環境再生活動

1 伊勢湾流域圏再生ネットワーク

伊勢湾流域圏の環境再生に向け、行政機関、研究者との連携、NPO等の市民団体の活動を支援するための取り組みを行った。

会員数 52団体

実施日・実施内容

H30.7.13 世話人会
H30.7.19 一斉水質モニタリング調査
H30.9.15 環境デーなごや2018
H31.1.11 身近な水環境の全国一斉調査



▲ 環境デーなごや2018

2 浜松かわ・みちボランティアクラブ (浜松支所)

静岡県西部地区で、地域の環境保全の準絶滅危惧種のミヤマシジミ(蝶)保護のために河川敷の環境整備及び河川、海岸、道路の清掃・美化活動を行った。

実施日

H30.5.13 海岸美化活動
H30.8.10 道路美化活動
H30.10.28 河川環境整備活動
H30.11.15 河川環境整備活動

実施内容

海岸・道路・河川の美化活動
参加延人員 76名



▲ 浜松かわ・みちボランティアクラブ

※令和元年5月18日開催の全国「みどりの愛護」のつどいにおいて、国土交通大臣から感謝状を授与

3 木曽三川・クリーンサポーター(岐阜支所)

岐阜市内に所在する地域のボランティア団体による環境保全活動(木曽三川流域の河川清掃、美化等)と併せた活動を行った。

実施日

H30.5.26 河川美化活動(揖斐川)
H30.8.5 河川美化活動(長良川)
H30.10.28 河川美化活動(長良川)

実施内容

河川敷の清掃活動
参加延人員 48名



▲ 木曽三川クリーンアップ大作戦

4 多治見さぼう・みちボランティアクラブ (多治見支所)

岐阜県東濃地方において土砂災害防止及び道路の美化愛護活動を行った。

実施日

通年

実施内容

道路施設清掃 参加延人員 47名
砂防施設清掃 参加延人員 6名



▲ 多治見さぼう・みちボランティアクラブ

防災支援活動

1 防災エキスパート

災害の発生に際して公共土木施設の被災情報を収集して防災機関へ報告等を行うのが防災エキスパート活動で、着実な実施のため各地区別に説明会を行った。また、水防体制の万全を期すため水防思想の理解と普及を図る活動を行った。

実施日
 H30.4.16 地区代表・世話役会議
 H30.5.27 木曾三川連合総合水防演習・広域連携防災訓練(岐阜市長良川右岸)
 H30.5~6 重要水防箇所合同巡視
 H30.6~12 防災エキスパート意見交換会・現地視察
 H30.7.8 災害出動(木曾川上流事務所・長良川)
 H30.11.3 大規模津波防災総合訓練(四日市港霞ふ頭)



▲ 防災エキスパート・意見交換会



▲ 防災エキスパート・重要水防箇所合同巡視



▲ 防災エキスパート・災害出動(長良川)

2 災害危機管理マイスター

自然災害への応急対策及び緊急復旧に関する豊富な知識実務経験を有する技術者をマイスターとして委嘱し、災害発生時には被災地における専門技術的な見地から助言・提案を行う制度。

実施日
 通年
実施内容
 制度を運営した

3 河川災害アドバイザー

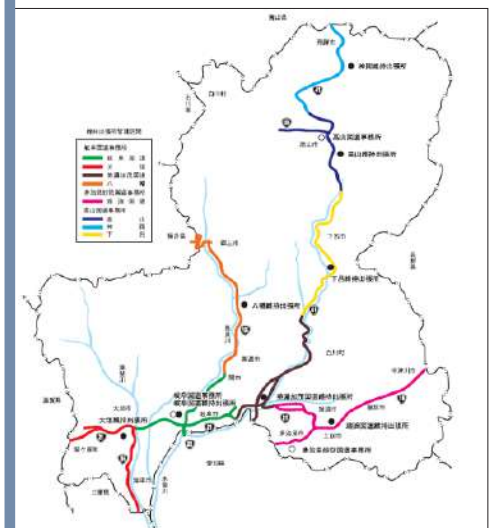
中部地方の直轄の河川、海岸、砂防による大規模災害発生時に、河川、海岸施設及び砂防設備の災害対応策のアドバイザーとして支援を行った。

実施日
 通年
実施内容
 制度を運営した

4 ROAD パートナー

中部地方の道路施設の異常等の情報を管理者に行い、その情報を基にきめ細やかな道路の維持管理が実施され、中部の価値ある道路サービス創造の一端を担うことを目的とする活動を行った。

実施日
 通年
実施内容
 制度の趣旨説明
 参加者募集、登録修正



▲ ロードパートナー(岐阜県の担当道路)

学習支援、体験活動

① 親子教室

小中学生の親子を対象に、道路や河川を愛する気持ちを持ってもらうための現地体験型学習を行った。

《道のコース》

- 名古屋環状2号線西南部工事現場を見学、道路や橋の構造や建設機械について体験学習した。
- 名古屋港(名古屋海洋博物館、南極観測ふじ等)、名古屋市港防災センター見学し、名古屋港の貿易、防災などについて体験学習した。

実施日 H30.7.26

参加者 30名

《ダムのコース》

- 小里川ダムを見学し、ダムの仕組、役割やダムで働く環境を学習した。
- 岐阜県先端科学技術体験センター(サイエンスワールド)にて、科学実験や科学工作を体験学習した。

実施日 H30.8.2

参加者 50名



▲ 親子教室(名古屋環状2号線西南部工事現場)



▲ 親子教室(小里川ダム)



かわ みち

▲ ちびっこカメラマン(最優秀作品)

② チビッコカメラマン

小中学生を対象に、社会資本のことをもっと知ってもらうため身近にある「川や道」の写真を募集し、表彰する活動を行った。

実施日 表彰式 H30.12.8

実施内容 小中学生を対象とした写真コンクール
応募総数 56点

③ 「木曽三川水郷カード」及び「広報マップ」作成(桑名支所)

木曽三川下流部にある治水、砂防、防災等に関する資料の展示施設、道の駅を巡り「PRカード」を通して防災、地域づくりの意識向上、啓発活動を行った。

実施日 広報マップ配布 H30.4～H31.3
水郷カード配布 H30.10.1～H31.2.28

実施内容 「木曽三川水郷カード」と「広報マップ」を作成し、来館者への配布



全14種

▲ 木曽三川水郷カード

東海道さんさくウォーク

旧東海道をさんさくウォークにより、地元の歴史・文化・史跡を見直し、新たな発見の場を提供した。

《旧東海道由比～蒲原宿コース》

旧東海道の由比の町並みを歩学し、広重の版画が展示されている広重美術館を見学し、蒲原宿まで地元ボランティアガイドの解説を聞きながら歴史等の探索を行った。

実施日 H30.12.8

担当 静岡支所

参加者 17名



▲ 由比～蒲原宿コース(志田邸)

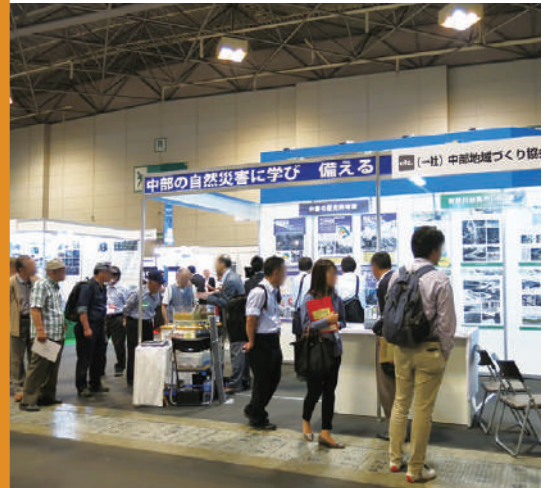
広報、啓発活動

① 第6回 中部ライフガードTEC2018 防災・減災・危機管理展

災害の防災・減災・BCPIに必要な製品・技術・サービス等を展示紹介し、防災意識のさらなる向上と、防災・減災関連産業の振興を図る「防災・減災・危機管理展」に出展した。

実施日 H30.5.17～18

実施内容 防災DVD上映、パネル展示、液状化実験等を行った。



▲ 中部ライフガードTEC2018 防災・減災・危機管理展

② 平成30年度 木曾三川連合 総合水防演習・広域連携防災訓練

洪水被害・高潮被害を想定し、水防関係者の水防技能の習熟と、防災関係機関が相互に連携した複合型災害に対する各種訓練による防災体制の確立を図る「木曾三川連合総合水防演習・広域連携防災訓練」に参加した。

実施日 H30.5.27

実施内容 岐阜市長良雄総地先会場において、防災DVD上映、パネル展示、液状化実験等を行った。



▲ 木曾三川連合総合水防演習・広域連携防災訓練

3 建設技術フェア 2018 in 中部

産学官の技術交流の場を提供し、技術開発や新技術導入の促進を図るとともに、建設分野を専攻している学生との交流や一般の方々に建設技術の魅力と社会資本整備の必要性を広く紹介する建設技術フェア2018 in 中部を共催し、出展した。

実施日 H30.10.17～18

実施内容 大規模災害から学ぶ地域防災力の強化と題し、防災DVD上映、パネル展示、液状化実験等を行った。
展示 237企業・団体
来場者 15,704名



▲ 建設技術フェア 2018 in 中部

4 平成 30 年度 大規模津波防災総合訓練

国民の間に広く津波対策についての理解と関心を深めるため、「津波防災の日」を中心に地震・津波防災訓練の実施が求められる中、南海トラフを震源とする大規模地震の発生が危惧されており、南海トラフ巨大地震を想定した大規模津波防災訓練に参加した。

実施日 H30.11.3

実施内容 四日市港震ふ頭会場において、地震災害等のパネル展示や防災DVDの上映、液状化実験等を行った。
参加団体 国、地方自治体、企業、地域住民 123機関
来場者 約 1,800名



▲ 大規模津波防災総合訓練

5 防災啓発活動の実施

愛西市が行った、過去の災害の教訓をもとに地域住民、自主防災会やボランティア団体等が主体的に取り組む、防災知識の習得と防災行動力の向上、地域防災力の強化を図るための総合防災訓練に参加した。また、安八町で小学生の防災意識向上のための夏休み短期教室「おもしろサイエンス」に講師派遣等の協力を行った。

実施日 H30.8.21
安八町「夏休み子ども短期教室「おもしろサイエンス」協力
H30.8.26
愛西市総合防災訓練に参加

実施内容 安八町
・地震災害の実験等を行った。
愛西市
・パネル展示(地震・風水害)、防災DVD上映、液状化実験等を行った。



▲ 愛西市総合防災訓練



▲ 夏休み子ども短期教室「おもしろサイエンス」(安八町)

6 防災啓発資料作成

- 「自然に学び、自然に備える<近年の豪雨災害記録集・2018>」を作成し、公共機関等に配布するとともに各種イベントに提供した。
- 「自分の命を自分で守るために（平成30年版）」を共催で作成した。
「木曾三川連合総合水防演習・広域連携防災訓練」で配布し、防災意識向上に向けた啓発活動を展開した。

実施内容

防災啓発資料作成・配布



▲ 防災啓発資料作成

7 伊勢湾台風 60 年防災体感 VR の制作

2019年9月、伊勢湾台風から60年の節目を迎える。平成30年7月豪雨など近年の水災害の頻発化・激甚化が懸念される中、災害経験や教訓など災害伝承の機会が減少し、防災意識の希薄化が問題となっており、早期避難や自分の命を守る行動を促すようVRを制作した。

現実の空間とは異なる仮想空間で、名古屋港などの高潮による浸水や避難行動シミュレーションを体感する。

今後、防災啓発活動へ幅広く展開していく。



▲ 伊勢湾台風60年防災体感VR

8 木曾三川交流レガッタ

長良川国際レガッタコースを会場に、木曾三川の豊かな河川空間の活用とボート競技を通じて青少年の健全な育成、流域市町村の発展・活性化に寄与する目的で開催される「地域交流レガッタ競技会」を共催した。

H30.5.13
H30.9.9 台風の影響で中止

参加クルー数
5月 78クルー
9月 126クルー 申込



▲ 木曾三川交流レガッタ

9 CCKみずほ

当会のCCKみずほ(名古屋市)1階フロアに社会資本整備に関する図書・資料等や測量機器を収集・展示し、小中学生から一般の方々まで学習できる場を提供した。

通年

社会資本整備の歴史、建設技術等に関する図書及び資料の収集・展示、歴史的に貴重な測量機器の展示、ちびっこカメラマンの応募作品の展示を行った。



▲ CCKみずほ

10 第23回 水シンポジウム 2018 in ふじのくに・沼津

市民、学会、行政が一同に会して風水害や自然環境などの水に関する諸問題を議論し、相互理解と情報共有を図るための「第23回水シンポジウム2018 in ふじのくに・沼津」を共催した。

実施日 H30.8.23～24

実施内容 「富士の麓で水を語ろう～水のチカラ。多様な恵みや荒ぶる姿と暮らしの関わりを考える～」をテーマにシンポジウムを開催(沼津市)



▲ 水シンポジウム2018 in ふじのくに・沼津

11 全国街道交流会議 第12回 全国大会「しずおか大会」

「変わる東海道、広がる東海道」をテーマに全国街道交流会議第12回全国大会「しずおか大会」により、全国の『まち』や『みち』を繋ぐ新たな「東海道」を活かした地域づくりを発信する活動を共催した。

実施日 H31.2.15～16

実施内容 シンポジウム
(基調講演、分科会、首長懇談会)
視察研修会



▲ 全国街道交流会議「しずおか大会」

キャンペーン活動

砂防講演会(中津川市「治山・治水の日」)

中津川市において、過去から現在に至る様々な土砂災害について、「自助、公助、共助」の意識の向上を図るための講演会及び中津川市で過去に発生した土砂災害に関する資料展示等を開催(共催)した。

実施日 H30.8.26

実施内容 砂防講演会(中津川市内)
参加者 200名
災害写真展 (H30.8.24～9.11)



▲ 砂防講演会(中津川市「治山・治水の日」)

5 研究会、講演会に関する事業

1 中部地域づくり講演会

中部地方における地域づくりを支援する取組の一つとして講演会を開催した。

実施日
実施内容

H30.12.11
講演
防災教育最前線
～今、学校では...?～
参加者 148名



▲ 中部地域づくり講演会

2 中部ブロック災害復旧事業講習会

災害復旧事業実務担当者を対象に、災害復旧事業の円滑な運営に資するため災害復旧事業の各種資料等を作成するのに必要な技術・制度等に関する講習会を津市において共催した。

実施日
実施内容

H30.11.16
中部地方整備局における最近の災害発生対応、災害採択の基本原則、災害申請の留意事項及び災害復旧工法
参加者 97名



▲ 中部ブロック災害復旧事業講習会

3 道路建設技術講演会

道路建設技術者を中心に、広く新しい情報の提供と知識・技術の向上を図る講習会を名古屋市において共催した。

実施日
実施内容

H30.10.25
講演
『「彼を知り己を知れば百戦殆（あやう）からず」で南海トラフ地震を凌（しの）ぐ』
『中部の道路事業について』
『BIM/CIMの動向と今後の展開』
参加者 282名



▲ 道路建設技術講演会

地域づくりに関する調査研究活動

1 「中部災害アーカイブス」 Web サイト

中部の歴史的災害で残された爪痕等に関するアーカイブスを Web サイトで公開し、調査研究活動資料収集のための双方向情報発信ツールとして活用。また、あらたに中部地方における近年の豪雨災害に関するページを作成し、地域防災力向上を図った。

実施日 通年

2 中部河川懇談会

河川の整備等に関する諸活動に対して広く提言等を行い、河川整備等の円滑な推進に寄与するための活動を行った。

実施日 H30.10.25
委員会(中部地方整備局委員含む)の開催

実施内容 河川技術の伝承、河川愛護の普及・啓発及び河川整備の工法に関する企画立案、提言等を行った。

3 河川工法伝承研究会

経験工学として培ってきた河川工法を次代に伝承し、新技術・新工法と相まって発展させ、これからの河川事業の円滑な推進に寄与するための活動を行った。

実施日 H30.6 ~ 12
堤防決壊シミュレーション
H30.10 ~ 11 技術検討会の開催
H30.11.8 現場技術検討会の開催
H30.11.27 委員会の開催

実施内容 河川工法の分類整備及び研究検討に関すること、河川工法の伝承に関すること、新技術・新工法の提言及び普及に関すること等

4 矢作川治水史研究会(豊橋支所)

矢作川流域における災害記録等の資料の建設技術者等への提供及び防災意識の啓発活動を行った。

実施日 通年

実施内容 災害記録の資料収集、収集した古文書等の評価・分析、市民会議での意見交換、幹事会、流域調査等



▲ 「中部災害アーカイブス」Webサイト



▲ 中部河川懇談会



▲ 河川工法伝承研究会(堤防決壊シミュレーション)



▲ 矢作川治水史研究会

5 中部道路懇談会

道路事業の円滑な推進に寄与するために、道路に関する諸活動に対する提言を行う活動を行った。

実施日 H30.11.15 委員会の開催
H31.2.26 委員会(行政支援)の開催

実施内容 道路事業の現状や今後の施策の方向性等について、知見・知識の向上を図った。



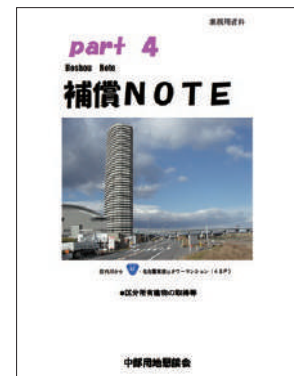
▲ 中部道路懇談会

6 中部用地懇談会

公共用地取得の諸活動に対して提言を行い、公共用地取得の円滑な推進に貢献するための活動を行った。

実施日 H30.7.26 委員会、部会開催
H31.2.21 委員会、部会開催

実施内容 図書等の資料収集、用地読本の編集・発行



▲ 中部用地懇談会 補償NOTE Part4

資料の収集及び展示活動

1 CCK 文庫(業務管理部・業務センター)

中部地方における社会資本整備の歴史、建設技術等に関する資料を収集整理して、広く一般の方々に知識を開放する活動を行った。

実施日 通年実施

実施内容 図書の収集・整理、閲覧・貸出



▲ CCK文庫

2 狩野川文庫(沼津支所)

狩野川流域の人々が流域の歴史、文化、自然環境、建設技術などの学習場所として、資料を収集し展示して知識を開放する活動を行った。

実施日 通年実施

実施内容 流域市町の刊行物調査、図書の収集・整理



▲ 狩野川文庫

3 天竜川文庫(浜松支所)

天竜川流域の歴史、社会環境、建設技術等に関する資料を収集して知識を開放する活動を行った。

実施日 通年実施
毎月1回資料整理

実施内容 資料の収集と活用のための企画・運営、貸出
チラシ配布



▲ 天竜川文庫

品質確認技術

建設ICTの導入・普及・開発に関する研究活動を行った。	実施日	通年 H30.5.25 「建設ICT導入普及研究会第7回総会」に参加
	実施内容	建設ICTの普及促進に協力した。



▲ 建設ICT導入普及に対する感謝状

(一社)中部地域づくり協会では、
定款第3条に定める「国土の利用、整備及び保全並びに災害防止に関する事業の円滑な推進を図り、
もって国土の健全な発展に寄与する」ことを目的に公益活動を行っています。

本誌は、平成30年度に行なった公益活動の概要をとりまとめたものです。



一般社団法人 中部地域づくり協会

〒460-8575 名古屋市中区丸の内三丁目 5 番 10 号
(名古屋丸の内ビル8階)

TEL 052-962-9455 FAX 052-950-1178

URL <http://www.ckknet.jp/>